

クボタ、中国に生産工場新設し、トラクタの生産能力強化

Edited By LogisticsToday On 2016/05/10

クボタは9日、中国の現地子会社久保田農業機械（蘇州）にトラクタ、ホイールコンバインの生産工場を新設すると発表した。

同社は、1998年に久保田農業機械を設立し、コンバインや田植機といった農業機械の生産販売を行っており、トラクタは2009年、ホイールコンバインは13年からレンタル工場内に生産ラインを設置し、製品供給を行いながら事業を拡大してきた。

今後の畑作事業の伸長を生産面から支えるため、久保田農業機械の本社工場敷地内に第二工場を新設し、生産能力を強化するとともに、原価低減や生産性向上を進めていく。



■新工場概要

所在地：中国蘇州市

規模：建屋面積2万9000平方メートル

投資金額：2億9700人民元（56億4000万円）

生産品目：トラクタ、ホイールコンバイン

生産能力：1年あたりトラクタ1万台、ホイールコンバイン1万台

稼働時期：2017年11月

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>
URL to article : <http://www.logi-today.com/232052>
Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.